

# 土木学会 論文集

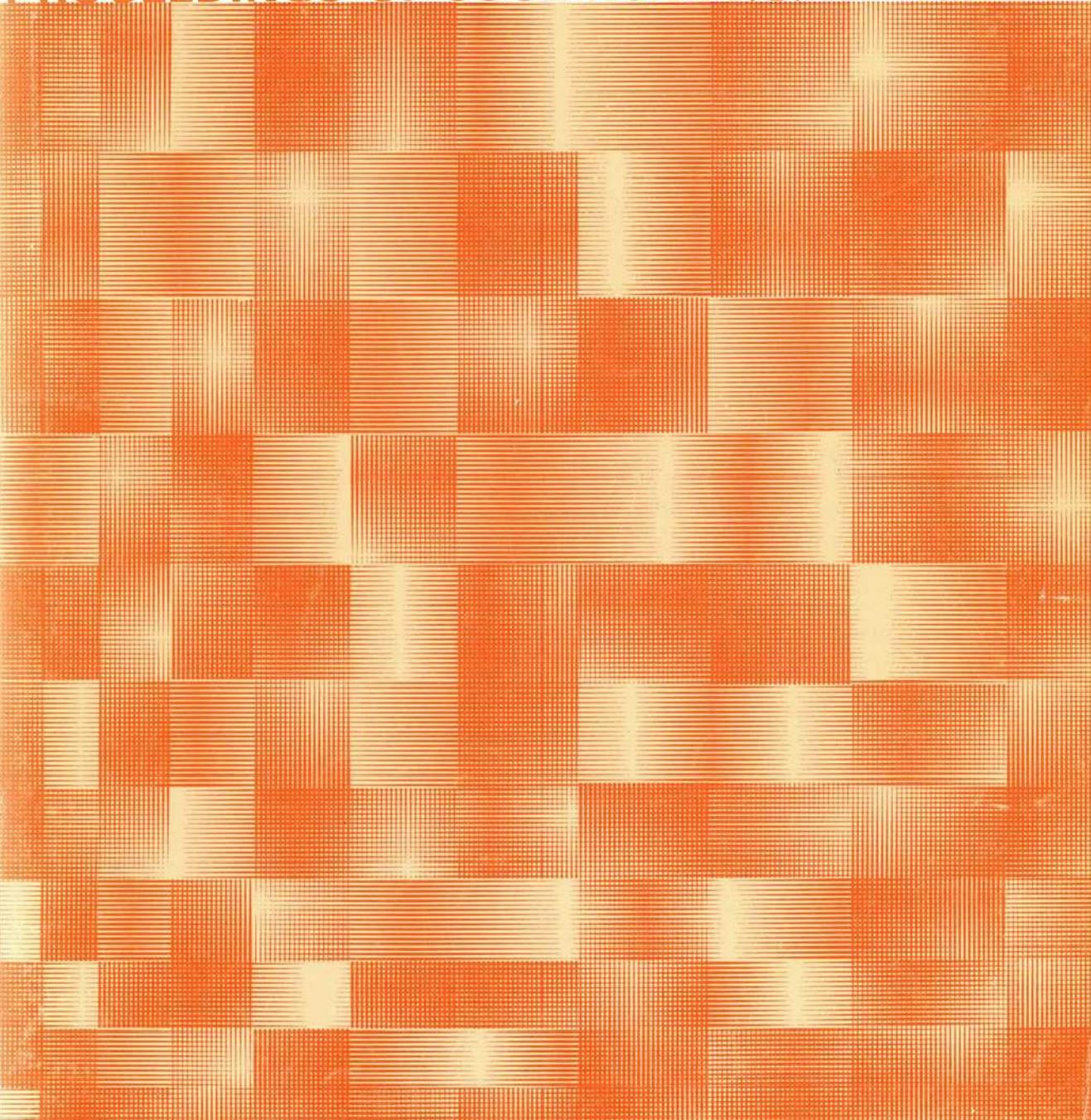
JAPAN  
SOCIETY OF  
CIVIL ENGINEERS



# IV

ISSN 0289-7806

## PROCEEDINGS OF JSCE No.389/IV-8 1988-1



Mr.SOILがさらに機能を充実

## 地盤の非線形解析ソフト

# Mr. SOIL

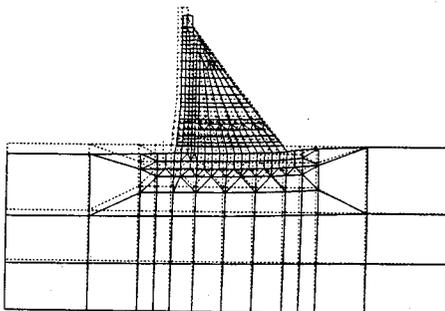
## Version-2

### 《機能》

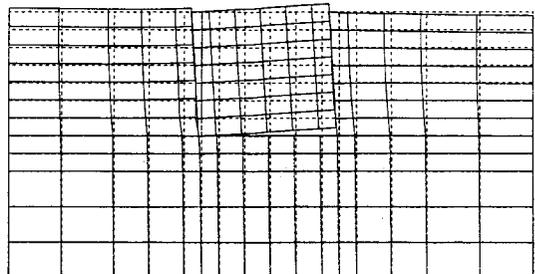
- 弾性及び弾塑性解析が可能。
- 掘削機能、盛土機能がある。
- 地盤の不連続性や、構造物との相互作用が扱える。
- 各種要素の準備(三角形要素、四角形要素、棒要素、梁要素、JOINT要素)
- 大型モデルはそのままCRCネットワークで、メインフレーム処理が可能。
- 地震荷重、分布荷重が扱える。\*
- 荷重の段階的載荷が可能。\*
- 弾性解での安全率(モール・クーロン基準)評価。\*
- 充実したグラフィック機能(変形図・応力ベクトル図・応力コンター図・拡大機能など)。\*

\* 印はVersion-2による追加機能

販売価格：64万円      機種：NEC PC-9801シリーズ、IBM5550



静水圧によるダム解析



不連続性を考慮した地盤と構造物の解析

**CRC** センチュリリサーチセンター 株式会社

大阪市東区北久太郎町4-68  
(06-241-4121)担当：岩崎・古川

# 土木学会論文集編集委員会

委員 長 山田善一  
 副委員 長 中村良夫  
 幹事 長 魚本健人

## 第1小委員会

委員 長 福本 秀士  
 委員 員 西岡 隆裕  
 〃 吉田 一昌  
 〃 坂井 藤博  
 〃 寺田 英一  
 〃 渡辺 啓一行  
 幹事 小長井 一男  
 編集調整会議幹事 川上 英二

## 第2小委員会

委員 長 高 棹 琢 馬  
 委員 員 高 橋 保 臣  
 〃 虫 明 功 矩  
 〃 松 尾 友 樹  
 〃 沢 本 正 司  
 〃 高 山 知 夫  
 幹事 灘 岡 和 彦  
 編集調整会議幹事 磯 部 雅

## 第3小委員会

委員 長 足 立 紀 尚  
 委員 員 河 野 伊 一郎  
 〃 足 立 格 一郎  
 〃 小 林 正 樹  
 〃 佐々木 康  
 〃 矢野 弘 一郎  
 幹事 西 好 一  
 編集調整会議幹事 山 田 恭 央

## 第4小委員会

委員 長 中 村 良 夫  
 委員 員 渡 辺 貴 介  
 〃 井 上 矩 之  
 〃 竹 内 伝 史  
 〃 森 杉 壽 芳  
 〃 山 形 耕 一  
 幹事 岡 田 憲 夫  
 編集調整会議幹事 内 山 久 雄

## 第5小委員会

委員 長 池 田 尚 治  
 委員 員 藤 井 昭 博  
 〃 森 吉 征 夫  
 〃 青 柳 弘 美  
 〃 山 下 山 久 幸  
 幹事 丸 辻 幸 和  
 編集調整会議幹事

## 第6小委員会

委員 長 上 野 芳 久  
 委員 員 島 田 真 昭 夫  
 〃 姫 路 正 記  
 〃 山 口 沢 栄 一  
 〃 田 高 橋 所 嘉 隆  
 〃 高 番 原 勝 節  
 〃 廣 木 下 浩 次  
 幹事 廣 木 下 浩 次  
 編集調整会議幹事

### 討 議 に つ い て

この論文集に掲載された論文に対する討議はすべて土木学会論文集編集委員会あてとし、その締切期日は昭和63年7月20日とする。

All communications and discussion (open until July 20, 1988) relating to the papers included in the Proceedings should be addressed to the Editorial Committee on Technical Publications, Yotsuya 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo, 160 Japan

## 正 誤 表

「傾向変動を考慮したリンク交通量による OD 交通量推計法」

著者：飯田恭敬・高山純一・金子信之

(土木学会論文集 第 383 号/IV-7 1987 年 7 月)

| ページ, 欄, 行           | 誤      | 正               |
|---------------------|--------|-----------------|
| p. 149, 下段<br>内容紹介欄 | (内容紹介) | (削除し, 別記のものを挿入) |

執筆者および関係者の方々には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

### 傾向変動を考慮したリンク交通量による OD 交通量推計法

飯田恭敬・高山純一・金子信之

[土木学会論文集 第 383 号/IV-7 1987 年 7 月]

本論文は観測リンク交通量から対象地域の OD 交通量を推計する新しい推計モデルを提案したものである。このモデルは日々変化する OD 交通量の変動特性をモデルに組み込んだところに特徴があり、既存 OD 調査時点からの時間経過が大きく、傾向変動が無視できない場合に、特に有効なモデルといえる。ここでは、簡単な対象道路網を用いたシミュレーションにより、モデルの有効性と適用限界を明らかにした。

土木学会論文集 No. 389/IV-8

定価 1 500 円

昭和 63 年 1 月 15 日 印刷

昭和 63 年 1 月 20 日 発行

発行者 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地

社団法人 土木学会 専務理事 八木 純一

発行所 社団法人 土木学会

郵便番号 160 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地 振替東京 6-16828 番  
電話 (03) 355-3441

表紙デザイン：中井一郎，印刷所：技報堂